

広報 おばま

No.835

7

JUL. 2023

悠久の歴史と風土が生きるまち
～新たな時代の御食国若狭おばま～



特集

地域おこし協力隊 × おばま × 「
」 ∞

無限大



【表紙】 小浜市の地域おこし協力隊員の皆さん（詳しくは次ページから）

活動は始まったばかり

かい まさと
甲斐 雅人 さん

令和5年4月1日から活動

おばま × 「宿でおもてなし+情報の活用」



無限大

特集 地域おこし協力隊 × おばま × 「 」 = ∞

小浜市で活躍する地域おこし協力隊の皆さんの活動や思い、小浜市の取り組みを紹介します。



「大学で観光を学び、大学院で観光研究に取り組んだ甲斐さん。観光地域づくり法人の「株式会社まちづくり小浜（和久里）」がみずから事業を立ち上げて利益を求めめる挑戦心と、地域を元気にしたいという阿納^{あの}区の人の思いにひかれ、地域おこし協力隊になりました。

「現在は、『若狭佳日（阿納）』で接客を行うほか、宿泊予約や顧客管理のアプリ（システム）を開発し管理しています。アプリによってスタッフの事務作業が減り、お客様に接する時間を最大限つくることができます。今後は、情報を蓄積して観光振興に生かし、お客様に来ていただけるサービスの提供を目指していきたいです。

宿では阿納で養殖されている魚を提供しているので、阿納の人と親密になって、一緒に養殖の作業もしてみたいですね。」

【写真上】宿の部屋からの眺望は、若狭湾の水平線を臨むことができる 【写真中】ダイニングでおもてなしの準備を行う甲斐さん
【写真下】甲斐さん（左）と一緒に働く仲間^{※1} ※1 仲間は、今月号の「プロフェッショナル！働く若者」（本紙19P）で紹介

地域おこし協力隊 豆知識 その1

「地域おこし協力隊」ってどんな人のこと？
小浜市・福井県・全国の地域おこし協力隊

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度に開始した「都市地域から住民票を移し、地方に生活の拠点を移した人」を、地方公共団体が協力隊員として委嘱する制度です。

隊員は1年以上3年以下の間、地域に居住して、地域おこし支援や地域協力活動を行い、地域での就職や起業につなげていきます。

小浜市では、隊員の半数以上が任期終了後、市内もしくは市の近隣に定住

	小浜市 ^{※2}	福井県 ^{※2}	全国 ^{※2}
現役の地域おこし協力隊員数	7人	45人	6,447人
任期終了者数 ^①	7人	111人	9,656人
うち活動地の同一・近隣市町村内で定住している人数 ^②	5人	72人	6,318人
定住率 ^② ÷ ^① （四捨五入含む）	71.4%	64.9%	65.4%

福井県と全国の数値の典拠：総務省ホームページ「令和4年度地域おこし協力隊の隊員数等について」
(https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei08_02000252.html)

※2 小浜市の人数・定住率は全て令和5年6月23日現在、福井県・全国の「地域おこし協力隊員数」は令和4年11月末調査時点、福井県・全国の「任期終了者数」と「うち活動地の同一・近隣市町村内に定住している人数」は令和4年3月31日までの累計（いずれも隊員の活動がおおむね1年未満の場合は数値に含まない）。

おばま × 「学生の活動と受け入れの支援」

― 坪井さんは、東日本大震災の被災地域で学生の学習支援や地域活動に携わっていた経験から、小浜の地域おこしに関心を持つ学生が行う取り組み「小浜Rキャンプ」の運営を担当。

小浜Rキャンプでは、学生が小浜でやってみたい地域おこし活動の実現に向けて、坪井さんが市民の皆さんと学生の間に入って縁をつくっています。

生まれた縁によって、昨年の放生祭ほうせまつりでは、学生が笛と三味線で祭りばやしに参加し、市民の皆さんと交流を深めました。

「小浜の皆さんは私や学生を優しく受け入れてくださっています。これから、学生など市外の人が小浜と関わることによって、まちにどのような影響があるのか楽しみです。」

学生と交流を希望される人は、小浜市役所※3にご連絡いただければ私が駆け付けます！。



地域の人との縁を紡いでいく

つぼい なほみ
坪井 奈穂美 さん

令和3年4月1日から活動



※3 連絡先：未来創造課 ☎ 0770・64・6008

【写真左】小浜Rキャンプのほか、学生の活動支援として、愛知大学生が小浜の食文化を学び、若者目線で提案する「地域創生型プログラム」を受け入れた（6月3日・はまかぜプラザ）

【写真右】小浜Rキャンプの成果と自身の活動をまとめた冊子

おばま × 「観光の情報発信」



小浜を盛り上げたい

ますたに つばさ
栢谷 翼 さん

令和4年9月1日から活動

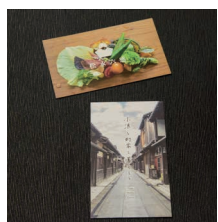
― 小浜市出身の栢谷さんは、現在、株式会社まちづくり小浜で広報の役割を担い、同社のSNSやホームページの編集、イベントの企画に携わっています。

「大学卒業後、東京で就職してから、子どものころ過ごした小浜が寂しくなったなと思い、人を呼び込み地元を盛り上げたいと、地域おこし協力隊になりました。」

小浜には自然や食などいいものがあるのに知られていないこ

とが多いので、雰囲気が伝わるように動画を作って、人目に触れて伝わりやすいようにしていきたいと思っています。

小浜での観光の目的地をつくりたい。まずは地域の人などと知り合って、人とのつながりをたくさんつくりたいです。」



【写真上】SNSでの情報発信や広報物の製作を行う栢谷さん

【写真下】栢谷さんがデザインに携わった施設紹介のカードは、道の駅「若狭おばま」で手に取ることができる

おばま × 「カキの養殖」



これから勉強したい

さかた かいと
坂田 凱斗 さん

令和5年5月1日から活動

【写真】カキの養殖の研究で、福井県立大学や小浜市漁業協同組合・市職員などが連携。養殖開始前のカキの大きさなどを測定し、かごに入れる。坂田さんも作業に参加（5月31日・福井県立大学かつみキャンパス）



「カキの養殖に携わりたい」と漁師の就業支援フェアを訪れたことをきっかけに地域おこし協力隊となった坂田さんは高校卒業後、研修受け入れ先の小浜市漁業協同組合（川崎三丁目）を通じ、カキの養殖に関する作業などを手伝うほか、福井県立大学のカキの養殖研究に関わる準備作業にも参加しました（写真）。

「カキの養殖の作業を手伝ったときは、カキを1つずつロープに付けて海に沈める作業を行いました。1時間ぐらいかけて1カ所の養殖用のいかだでの作業が終わったときは達成感があります。

小浜は自然が豊かで、漁協や仏谷の漁業者さんたちは優しく接してくれます。小浜の皆さんと交流して、自分のことを知ってもらいたいです」。

おばま × 「米作り＋野菜作り」



小浜の皆さんは
優しい人ばかりです

くまきり えいすけ
熊切 栄輔 さん

令和3年4月1日から活動

「活動3年目を迎える熊切さんは、現在、複数の農業事業者の下で研修を受ける傍ら、親族の田んぼで米作りを行っています。

「子どもの誕生をきっかけに妻の出身地である小浜へ移ることを考えていたとき、偶然出会った地域おこし協力隊の方の話を聞くうちに、農業が面白そうだと思い、地域おこし協力隊として農業の研修を受けることに決めました。

農業は、天気の良い日は自然を感じながら作業ができるので開放



野菜作りも学ぶ熊切さん。長ネギに優しく土を掛ける作業を行い、機械の扱い方を学ぶ（6月1日・株式会社永耕農産）

「活動3年目を迎える熊切さんは、現在、複数の農業事業者の下で研修を受ける傍ら、親族の田んぼで米作りを行っています。

「子どもの誕生をきっかけに妻の出身地である小浜へ移ることを考えていたとき、偶然出会った地域おこし協力隊の方の話を聞くうちに、農業が面白そうだと思い、地域おこし協力隊として農業の研修を受けることに決めました。

農業は、天気の良い日は自然を感じながら作業ができるので開放

的で気持ちがいいです。肥料や土の状態などで農産物の出来が変わると思うので、勉強して突き詰めていかないと、と思っています。

物を作り出す過程は大変ですが、できたときに達成感があり、収穫したときはうれしいです」。



【写真上】レストランで共に働く仲間

【写真下】レストランへの道中の誘導看板。左は当初設置した手作りの物。右は近所の住民に作成を引き受けてもらった丈夫な看板。撮影日は雨が降っていたが、遠くからでもよく分かる



小浜では困ったときに
相談できる人が思い浮かびます

とくがわ たかふみ
徳川 貴文 さん

令和 5 年 6 月 30 日で任期終了

いい魚や野菜などを
生かして料理をする

やなぎ しんご
柳 信吾 さん

令和 5 年 6 月 30 日で任期終了

「内外海地区の地域活性化プロジェクト」として、「株式会社志積」が運営する2棟の宿泊施設にレストランを備えた「海のオーベルジュ志積」。マネージャーとして同施設の運営を務める徳川さんと、レストランの料理人を務める柳さんが約3年間の活動を振り返りました。

徳川さん「最初は手探りでしたが、調べたり人に聞いたりで運営を行い、宿の清掃は、地域の人が力を貸してくださいました。小浜では、できた人とのつながりで、分からないことを誰かにすぐに聞くことができました。」

柳さん「食材が生きる方法を探して、小浜に来ないと食べられない料理を追求していました。今後の運営を考え、ここ1年は料理を仲間に託し、お客様の元へ商品を販売する方法を考えていました。」

自分たちで作った店への誘導看板が風で飛んで行ってしまふこともあり、近所の人が看板を作ってくださったのは、いい思い出です。」

地域おこし協力隊 豆知識 その2

地域おこし協力隊の活動報酬をもらいながら学べる

みけつくに
小浜市内全体が研修先 御食国 食の学校

小浜市では、地域おこし協力隊の制度を活用した「御食国 食の学校」という仕組みにおいて、食関連産業の担い手として活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

特徴①学びたい内容を組み合わせた研修が受けられる！

(例：米作りが学びたい→米作りを行う担い手農家を研修受け入れ先に)

※研修では、小浜の食文化に関する基礎知識も学びます

特徴②研修を受けながら、地域おこし協力隊の活動報酬がもらえる！(月額約 23 万円)

Join us! 仲間になってください！

現在受け入れ可能な研修

□農業者研修

市内の農家の下で生産、出荷、販売について学び、市内での就農を目指します。



学んだ知識を生かし、米作りに励む熊切さん(4Pで紹介)

□料理人研修

市内の飲食店での研修や農業・漁業の体験、飲食店経営の知識や技術などを学び、市内での飲食店の開業や就職を目指します。

小浜市出身者の
Uターンも
OKです！

隊員
その後

おばま × 「施設園芸 + 米作り」 || 就農 + 地域活動



小浜に面白い人が
増えていると思います

おかもと りゅうへい
岡本 竜平さん (元隊員)

令和2年3月31日で任期終了後
株式会社永耕農産 (太興寺) に就職

「農業に興味があった岡本さん。金沢市からリターンし、3年間小浜で施設園芸や米作りなど研修を受けました。
「農業はあらゆることを自分たちがやらなければいけない『面白さ』があります。地域おこし協力隊ではこれまでと比べて人と3倍出会い、退任後は仕事を通じた縁で、有志が集う地域活動にも参加しました。地域の事業者と情報交換することで、あらゆる分野で相乗効果が生まれると思いますね。」

隊員
その後

おばま × 「野菜作り」 || 宿でおもてなし + 地域活動



こやま なおき
小山 直紀さん (元隊員)

令和4年12月31日で任期終了後
株式会社まちづくり小浜 松永六感 藤屋 (門前) に就職

「東京区内での飲食店経営を経て、小浜で3年間少量多品目の野菜作りに取り組んだ小山さん。人の温かさに触れ、退任後、小浜に残ることを選びました。
「現在の仕事は宿での接客ですが、夕食を提供する際、野菜のおいしい時期や育ち方を説明できるのは、経験あつてのことです。今は地区のまちづくり協議会に入って、コミュニティセンターに通い、地区行事などの作業を手伝っています。偶然や縁があり活動に参加できて楽しい。いろいろな人と知り合えたのがありがたいです。」

市の担当者から 隊員の活動へのご協力をお願いします



わたなべ あきと
主査 渡辺 章人
食のまちづくり課
地域おこし協力隊担当

小浜市の一次産業をはじめとする食関連産業は、従事者の高齢化や人口減少などを背景に、担い手不足となっています。そこで小浜市では、「地域おこし協力隊」の制度を活用し、主に食関連産業の担い手の育成に取り組んでいます。
地域おこし協力隊の皆さんは、小浜市独自の研修制度である「御食国食の学校(5P下段)」において、本市の持つ魅力ある食資源や、これまでの食のまちづくりで培ってきた知識と技術、人脈を生かした本市ならではの研修のほか、市内の事業所での実践的な研修によって、食関連産業の担い手としての起業や就職に向けて活動しています。
地域おこし協力隊にとって、市内全体が研修先候補であり活動場所です。市民や事業者の皆さんには、隊員の活動に関して、市や隊員から相談があった際は、ぜひご協力をお願いします。

無限大
特集 地域おこし協力隊 × おばま × 「 」 = ∞

地域おこし協力隊や「御食国食の学校」に関する問い合わせは、食のまちづくり課 ☎ 0770・53・1000 まで

これからの季節の健康管理に要注意！

■問い合わせ 健康管理センター ☎ 52・2222

■熱中症

熱中症は気温などの環境条件だけでなく、体調や暑さに対する不慣れが影響して起こります。湿度が高く、風のない日は要注意です。

特に気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症の恐れが高まりますので、より一層注意しましょう。

【予防方法】

- ①こまめな水分補給
- ②通気性の良い吸湿・速乾の衣服や帽子の着用、日傘の使用
- ③扇風機やエアコンを使った温度調節
- ④体調不良を感じたら早めに医療機関で受診

■食中毒

O-157 などの食中毒は高温多湿になるこれからの季節に多く発生しています。食事前には、手をきれいに洗うなどして予防しましょう。

【予防の三原則】

- ①ヒト・食品・器具の清潔保持
- ②迅速な調理と冷蔵保存
- ③十分な加熱調理

■蚊による感染症

国外で感染がみられる「ジカウイルス病」「デング熱」などは、蚊が媒介する感染症です。

これから蚊の本格的な発生時期を迎えるため、できる限り肌の露出を減らし、虫よけ剤を使用するなど、普段から蚊に刺されないように注意しましょう。特に、流行地への渡航・滞在の際は十分な対策を行きましょう。



脱炭素社会の実現のため

夏の省エネ・エコ生活のススメ

夏場は冷房などの使用によりエネルギーの消費が増大します。家庭の身近な電化製品の使い方や生活習慣を見直して、省エネルギーで環境にやさしいエコ生活を実現しましょう。

■問い合わせ 環境衛生課 ☎ 64・6016

～省エネ・省資源の取り組み例～

【冷蔵庫】

- 開けている時間を短く
- 物を詰め込みすぎない

【エアコン】

- 冷房は室温 28℃を目安に
- うちわや扇風機を併用
- 外出時には昼間もカーテンを閉める
- フィルターを定期的に掃除

【照明器具】

- 照明はこまめに消す

【電気温水器】

- シャワーはこまめに止める
- 節水シャワーヘッドなどを利用

【テレビ】

- 見ていないときはこまめに消す
- 消すときは主電源から
- 長期不在のときはコンセントからプラグを抜く
- 画面の明るさを下げる

【その他】

- ゴーヤーなどつる性の植物でグリーンカーテンを作る
- 打ち水で暑さを和らげる
- エコドライブを心掛ける
- 外出先ではマイボトル、買い物時はマイバッグを利用



未来のために、いま選ぼう。

※「COOL CHOICE」とは、クールチョイス、地球の未来のための「賢い選択」を意味します。政府が推進する地球温暖化対策のキーワードです



▲グリーンカーテン講習会の様子 (市庁舎前・5月21日)



花苗をポットとプランターに定植

小浜市社会福祉協議会の呼びかけで若狭東高校生と遠敷保育園児・ボランティア団体が協力して活動(金屋・5月11日)



より実際の現場を想定 臨場感ある訓練に

「小浜市防災訓練」で避難所の運営や炊き出し・給水・応急手当方法を確認(内外海コミュニティセンター・5月27日)



小浜の食文化学び 若者目線で提案へ

愛知大学の1・2年生6人が「小浜らしい食育」を提案しようと水産事業者の養殖現場を訪問(阿納尻・6月3日)



志抱き 小浜に「留学」

県外から入学を希望できる「地域みらい留学制度」で若狭高校が初めて生徒を受け入れ(市庁舎・5月26日)

開園 10 周年の節目を迎える

なかがわじきんなん
中川淳庵顕彰薬草園に関係者が集いカラタネオガタマノキの記念植樹が行われる(小浜病院・5月27日)

中名田小学校児童が座禅を体験

春の遠足で同区内寺院を訪れた児童が座禅の姿勢や呼吸法を学び心身を落ち着かせる(下田・5月9日)





多肉植物の育成方法を学ぶ

嶺南西特別支援学校高等部エコ・グリーン班の1・2年生
5人が約20種類の多肉植物を花壇に植栽(羽賀・5月24日)

大太鼓の競り合い 威勢あふれる

てんまん
天満神社例祭の「田烏祭り」で神楽や棒振り・大太鼓などが4年ぶりに奉納される(田烏・5月28日)



友好都市の首長が来訪

せつこう へいこ ショウケンハ
中国浙江省平湖市から周軍波市長をはじめ6人が
小浜市を訪れ松崎市長と面会(市庁舎・5月10日)



「買い物ボランティア」で共生を考える

かいもの
若狭高校定時制の生徒3人が第三やすらぎの郷の
利用者3人の買い物を手伝う(駅前町・5月17日)



稚児行列が区内を一周

けいりんじ
慶林寺の本尊が33年ごとの本開帳を迎え1歳～小学6年
生の約20人の子どもが稚児行列に参加(栗田・5月20日)

協働のまちづくり事業を提案

市が募集する「いいとこ小浜づくり協働推進事業」で
5市民団体が活動計画や思いを発表(市庁舎・5月23日)



お知らせ



新型コロナウイルス
春開始接種券は送付済みです

子ども未来課

現在、65歳以上の高齢者および5歳以上の基礎疾患がある人、医療従事者、介護従事者を対象にオミクロン株対応ワクチンの接種を実施しています。

昨年オミクロン株対応ワクチンを接種した人には、新たに接種券を送っていますが、一度もオミクロン株対応ワクチンの接種を受けていない人は、市から送付した接種券を使用して接種をお願いします。

接種券が見当たらない場合は、再発行しますので、問い合わせてください。

▼問い合わせ・接種券再発行 小浜市新型コロナウイルスコールセンター ☎64・5654（受付時間は、平日の9時～17時15分）

市税口座振替の
申し込みキャンペーン

税務課 ☎64・6005

市では、市税の口座振替の新規申込者（税目追加を含む）を対象に、抽せんでふぐ宅配セットなど記念品が当たるキャンペーンを実施します。

▼受付期間 7月3日①～11月30日②

※今年4～6月に口座振替を新規で申し込んだ場合（税目追加を含む）も対象 ※期間中に口座振替を解約し、再度口座振替の申し込みを行った場合は対象外

▼対象税目 市県民税・軽自動車税・固定資産税・国民健康保険税

▼対象金融機関 福井銀行・小浜信用金庫・福邦銀行・福井県農業協同組合・北陸労働金庫・東日本信用漁業協同組合連合会・ゆうちょ銀行

▼口座振替の申込方法 「小浜市公金等口座振替依頼書」を記入して提出

▼口座振替依頼書記入時に必要な物 【市庁舎税務課（大手町）で手続き】

引き落とし口座のキャッシュカード ※東日本信用漁業協同組合連合会の引き落とし口座は、同連合会の窓口でのみ受け付け

【引き落とし口座の金融機関で手続き】

引き落とし口座の預貯金通帳と通帳の届出印

国民健康保険被保険者証の更新

市民福祉課 ☎64・6018

7月中旬に、市の国民健康保険加入者に対して、新しい被保険者証（藍色）を簡易書留で郵送します。

後期高齢者医療保険被保険者証の更新

市民福祉課 ☎64・6018

7月中旬に、県後期高齢者医療広域連合から、後期高齢者医療制度の加入者に対して、新しい被保険者証（緑色）が簡易書留で郵送されます。

現在使用中の被保険者証（えんじ色）は、8月以降使用できなくなり、各自で破棄するか、市民福祉課へ返却してください。

▼新しい保険証の有効期間 8月1日①～令和6年7月31日②

後期高齢者医療保険被保険者証の更新

市民福祉課 ☎64・6018

7月中旬に、県後期高齢者医療広域連合から、後期高齢者医療制度の加入者に対して、新しい被保険者証（緑色）が簡易書留で郵送されます。

現在使用中の被保険者証（青色）は、8月以降使用できなくなります。

各自で破棄するか、市民福祉課へ返却してください。

▼新しい保険証の有効期間 8月1日①～令和6年7月31日②

小浜いきいき健診

健康管理センター ☎52・2222

▼とき 7月19日①

▼ところ サン・サンホーム小浜（遠敷）

▼内容 特定・基本健診、がん検診（肺・胃・大腸・子宮頸・乳）、骨検診

▼申込期限 7月10日①

※特定健診は、加入している健康保険者から発行される受診券が必要

乾燥肥料の無料配布

衛生管理所 ☎52・1522

し尿を処理した後にはできる「乾燥肥料」を無料で配布します。

▼とき 7月3日①～21日②の期間中の平日、9時～16時

▼ところ 衛生管理所（荒木）

※乾燥肥料の臭いに対する苦情が寄せられています。開封後は早めに散布し、必ず覆土してください。野外で保管する際は必ずシートなどで覆い、周辺住民への配慮をお願いします

地震防災対策の現状調査アンケートに協力をお願いします

生活安全課



内閣府が今後の防災対策に向けて、国民の皆さんの声を反映させるために避難意識などに関する調査を実施しますので、協力をお願いします。

▼実施期間 7月1日①～8月末②（予定）

▼回答方法 右の二次元コードの回答フォームに従って入力

※回答は1人1回限り

▼問い合わせ 内閣府防災計画担当 ☎03・3501・6996

高校生サマー求人企業説明会

商工振興課

▼とき 7月1日(土)10時～15時(12時～13時は除く)

▼ところ おおい町総合運動公園「ブレイパーク大飯」体育館(おおい町)

▼対象 令和6年3月に高校卒業を予定している本人と保護者

▼内容 企業から本人と保護者へ個別説明など(70社が参加予定)

▼問い合わせ ハローワーク小浜 ☎52・1260

「ちよこつと就労」就職面談会

社会福祉法人福井県社会福祉協議会 嶺南支所

「ちよこつと就労」の仕事は、介護施設での食事の配膳・下膳や衣類の洗濯、部屋の掃除、シーツの交換など補助的な手伝いが中心で、特別な資格や経験は不要です。

勤務は1日2～4時間、週2～4回程度と短いので、空いている時間を活用しやすく、一人ひとりの生活様式に合わせた働き方ができます。

▼とき 7月28日(金)13時30分～15時

※途中参加・途中退出可

▼問い合わせ 県社会福祉協議会 福祉人材課 ☎0776・28・3180

※事前申し込み不要

妊娠中の女性労働者の母体健康管理措置等の期間延長

商工振興課

妊娠中の女性労働者が、新型コロナウイルスへの感染の恐れに関する心理的なストレスによって、母体または胎児の健康保持に影響があると主治医などから指導を受けたことを事業主に申し出た場合、事業主は必要な措置を行う必要があります。この措置の対象期間が、9月30日(土)まで延長されました。

また、必要な措置として有給休暇の制度を設けて、休みを取得させる労働者を支援する助成金の対象期間も、9月30日まで延長されました(申請期限は11月30日(土)まで)。

妊娠中の女性労働者が休みやすい環境づくりと配慮をお願いします。

▼問い合わせ 福井労働局雇用環境・均等室 ☎0776・22・3947(助成金の申請は ☎0776・22・0221)

ハローワーク利用できます

商工振興課

ハローワークが入居している小浜地方合同庁舎は、外壁工事中ですが、通常どおり業務を行っています。

▼問い合わせ ハローワークおばま ☎52・1260

社会を明るくする運動

市民福祉課 ☎64・6011

すべての国民が、犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

地域住民の連携を強め、犯罪のない幸福な社会づくりのため、皆さんの理解と協力をお願いします。

▼強調月間 7月1日(土)～7月31日(日)



サマージャンボ宝くじの購入は県内で

(公財) 福井県市町振興協会 ☎0776・57・1633

サマージャンボ宝くじの収益金は、市や町の明るく住みよいまちづくりに使われます。

▼発売期間 7月4日(火)～8月4日(金)



募集

おとまち@福井

フルーツサークルメンバー

文化会館 ☎53・9700

おとまち@福井は、令和3年度から県内で始まっている音楽を活用したまちづくり推進事業です。

市と県、県文化振興事業団では、株式会社ヤマハミュージックジャパンの協力の下、7月から小浜市でフルーツサークルを開始します。仲間を作って一緒にフルーツの演奏を楽しみましょう。

▼対象 小学4年生以上

▼定員 10人

※申し込み多数の場合は抽せん

▼活動日 日曜日の10時～12時(月2回) ※7月は2日と30日

▼ところ 文化会館(大手町)

▼料金 1回1000円

※楽器は無料レンタル可

▼申し込み 7月1日(土)正午までに文化会館へ電話





募集



やさしい手話教室(入門編) 受講者

高年齢・障がい者元氣支援課 ☎64・6012

市では、手話奉仕員を養成する講習会を開催します。あいさつなどの簡単な手話を覚えて、耳が聞こえない人と会話ができるようになりますか。

▼とき 8月3日(㊟)～12月21日(㊟)のうち、毎週木曜日の19時～20時30分(全20回。11月23日(㊟)は除く)

▼ところ 文化会館(大手町)

▼料金 テキスト代3300円

▼定員 先着20人

▼申し込み 高年齢・障がい者元氣支援課へ電話またはメールで連絡。

☒genki@city.obama.lg.jp

▼申込期限 7月20日(㊟)

日本語ボランティア養成講座 受講者

文化観光課 ☎64・6019

県や県国際交流協会、市では日本語を日本語で教える基礎を学び、外国の人を支援するボランティアの養成講座を実施します。

▼受講資格 県内在住の高校生以上の人

▼とき 8月5日・26日、9月2日・

9日・30日、10月7日・14日(いずれも土曜日)の13時30分～15時

※全ての日程の受講が必要。一部受講できない場合は要相談

※会場では、他所に在る講師と映像・音声をつなぐ形での受講になります。

▼ところ 働く婦人の家(大手町)

※自宅でのオンライン受講も可

▼講師 星摩美さん(福井ランゲージアカデミー)

▼料金 無料

▼定員 先着20人

▼申し込み 事前申し込みが必要。電話もしくはメールで、受講者の住所・氏名・電話番号・受講場所(会場または自宅)を文化観光課へ連絡。

☒rekishi@city.obama.lg.jp

▼申込期限 7月21日(㊟)

ひとり親家庭のためのパソコン講習会 受講生

子ども未来課



▼対象 ひとり親家庭の母または父 および寡婦

▼とき 8月26日(㊟)～10月28日(㊟)の間中の土曜日(全7回)

▼ところ 若狭医療福祉専門学校(美浜町)

▼内容 Excel検定コース(日商PC検定3級取得レベルまで学習)

▼受講料 無料

※ただし、テキスト代は自己負担

▼定員 10人

▼申し込み・問い合わせ 県母子家庭等就業・自立支援センター ☎0776・21・0733へ電話

▼申込期限 8月14日(㊟)

※詳細や他の会場・他の種類の研修は県母子寡婦福祉連合会HP(上段の二次元コード)を参照

※無料の託児サービスあり

▼申し込み・問い合わせ 県母子家庭等就業・自立支援センター ☎0776・21・0733へ電話

▼申込期限 8月14日(㊟)

※詳細や他の会場・他の種類の研修は県母子寡婦福祉連合会HP(上段の二次元コード)を参照

※無料の託児サービスあり

▼対象 ひとり親家庭の母または父 および寡婦

▼とき 7月22日(㊟)～12月3日(㊟)の間中の土・日(全22回)

▼ところ 若狭医療福祉専門学校(美浜町)

▼受講料 無料

※ただし、テキスト代5500円は自己負担

▼定員 20人

▼申し込み・問い合わせ 県母子家庭等就業・自立支援センター ☎0776・21・0733へ電話

▼申込期限 7月7日(㊟)

※詳しくは、県母子寡婦福祉連合会HP(上段「パソコン講習会」の二次元コード)を参照

※無料の託児サービスあり

▼申し込み・問い合わせ 県母子家庭等就業・自立支援センター ☎0776・21・0733へ電話

▼申込期限 7月7日(㊟)

※詳しくは、県母子寡婦福祉連合会HP(上段「パソコン講習会」の二次元コード)を参照

※無料の託児サービスあり

第22回杉田玄白賞

文化観光課 ☎64・6034

▼募集内容 「食に関わる医療・健康増進および食育」など「食」に関する進歩的な取り組みや研究

▼対象 個人または団体

▼応募 7月3日(㊟)～8月4日(㊟)の間に申請

※詳しくは、文化観光課へ問い合わせてください

▼応募 7月3日(㊟)～8月4日(㊟)の間に申請

※詳しくは、文化観光課へ問い合わせ

▼応募 7月3日(㊟)～8月4日(㊟)の間に申請

※詳しくは、文化観光課へ問い合わせ

▼応募 7月3日(㊟)～8月4日(㊟)の間に申請

※詳しくは、文化観光課へ問い合わせ

▼応募 7月3日(㊟)～8月4日(㊟)の間に申請

※詳しくは、文化観光課へ問い合わせ

▼応募 7月3日(㊟)～8月4日(㊟)の間に申請

※詳しくは、文化観光課へ問い合わせ

▼応募 7月3日(㊟)～8月4日(㊟)の間に申請

※詳しくは、文化観光課へ問い合わせ

▼応募 7月3日(㊟)～8月4日(㊟)の間に申請

※詳しくは、文化観光課へ問い合わせ

▼応募 7月3日(㊟)～8月4日(㊟)の間に申請

※詳しくは、文化観光課へ問い合わせ

▼応募 7月3日(㊟)～8月4日(㊟)の間に申請

※詳しくは、文化観光課へ問い合わせ

▼応募 7月3日(㊟)～8月4日(㊟)の間に申請

※詳しくは、文化観光課へ問い合わせ

▼応募 7月3日(㊟)～8月4日(㊟)の間に申請

※詳しくは、文化観光課へ問い合わせ

▼応募 7月3日(㊟)～8月4日(㊟)の間に申請

若狭消防組合職員

若狭消防組合消防本部 ☎53・5212

▼募集 消防吏員2人程度

▼採用日 令和6年4月1日(㊟)

▼受験資格 平成8年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた人で、高校卒業程度または、これと同等以上の学力がある人

※その他要件あり、詳しくは問い合わせてください

▼申込期間 7月12日(㊟)～8月10日(㊟)

▼1次試験 9月17日(㊟)

▼申し込み 所定の申込書類を若狭消防組合消防本部総務課(大手町)まで提出

※申込書は同消防本部総務課または管内各分署にあります。郵便で請求またはHPからも入手可能

▼申込期間 7月12日(㊟)～8月10日(㊟)

▼1次試験 9月17日(㊟)

▼申し込み 所定の申込書類を若狭消防組合消防本部総務課(大手町)まで提出

※申込書は同消防本部総務課または管内各分署にあります。郵便で請求またはHPからも入手可能

▼申込期間 7月12日(㊟)～8月10日(㊟)

▼1次試験 9月17日(㊟)

▼申し込み 所定の申込書類を若狭消防組合消防本部総務課(大手町)まで提出

※申込書は同消防本部総務課または管内各分署にあります。郵便で請求またはHPからも入手可能

自衛官候補生など

総務課

【自衛官候補生】

▼**受験資格** 18歳以上33歳未満※

※採用予定月の末日時点で33歳未満であること

▼**申込期間** 年間を通じて募集

【一般曹候補生】

▼**受験資格** 18歳以上33歳未満※

※採用予定月の末日時点で33歳未満であること

▼**申込期間** 7月1日(土)～9月5日(火)

【航空学生】

▼**受験資格** 高校卒業(見込み含む)

または高専3年次修了(見込み含む)の人で、海上自衛隊は18歳以上23歳未満、航空自衛隊は18歳以上21歳未満

▼**申込期間** 7月1日(土)～9月7日(水)

【防衛大学校・防衛医科大学校(医学科・看護科)学生】

【自衛官候補生】

▼**受験資格** 高校卒業(見込み含む)

または高専3年次修了(見込み含む)の人で、18歳以上21歳未満

▼**申込期間** 防衛大(推薦・総合選抜) 9月5日(火)～9月8日(金)、防衛大(一般) 7月1日(土)～10月18日(水)、防衛医大(医学科) 7月1日(土)～10月18日(水)、防衛医大(看護科) 7月1日(土)～10月4日(水)

【陸上自衛隊高等工科学校生徒】

▼**受験資格** 中学校卒業(見込み含む)で、17歳未満の男子

▼**申込期間** (推薦) 10月1日(日)～12月1日(金)、(一般) 10月1日(日)～令和6年1月5日(金)

▼**問い合わせ** 自衛隊敦賀地域事務所 ☎0770・23・2026

▼**1次試験** 10月28日(土)・29日(日)

海上保安学校・大学校生

小浜海上保安署 ☎52・0494

【海上保安学校生】

▼**受験資格** ①令和6年3月までに高校などを卒業見込みの人②高校などを卒業した日の翌日から数えて12年未満の人(令和5年4月1日時点)③人事院が①・②と同等の資格があると認める人

▼**申込期間** 7月18日(火)～27日(水)

▼**1次試験** 9月24日(日)

【海上保安大学校生】

▼**受験資格** ①令和6年3月までに高校などを卒業見込みの人②高校などを卒業した日の翌日から数えて2年未満の人(令和5年4月1日時点)③人事院が①・②と同等の資格があると認める人

▼**申込期間** 8月24日(木)～9月4日(月)

▼**1次試験** 10月28日(土)・29日(日)

※詳しくは、問い合わせしてください

国民年金保険料の納付が難しい人は

「免除・猶予制度」を利用してください ■問い合わせ 市民福祉課 ☎64・6018

失業や所得が少ないなど経済的な理由で国民年金保険料を納付することが難しい場合、本人が申請することで保険料の納付が免除・猶予される制度があります。

保険料を未納のままにすると、将来の老齢基礎年金や障害基礎年金などを受け取ることができなくなる場合があります。必ず保険料を納めるか、免除・猶予制度を利用してください。

免除・猶予対象期間	令和5年度分(7月～令和6年6月)※ ¹
申請受付日	7月3日(日)から随時
申請場所	市庁舎1階 市民福祉課(2番窓口)
持ち物	①「年金手帳」など基礎年金番号が確認できる書類 ②「雇用保険受給資格者証」もしくは「雇用保険被保険者離職票」(いずれも失業などの理由で申請する場合のみ)
注意事項	原則、毎年申請が必要です。令和5年6月まで免除されている人で、引き続き免除を希望する場合は、7月以降に申請してください※ ²

※¹ 申請時点の2年1カ月前までさかのぼって申請できます(納付済み期間の申請はできません)

【例】令和5年7月に申請する場合は、令和3年6月以降の保険料について申請が可能

※² 免除・猶予の継続審査を希望し承認された人は、毎年申請する必要はありません

Event

市内の催し物情報を発信

イベントスケジュール



2023
7

2日⑩ まちの駅マルシェ

フルーツサンドやポップコーンの販売、フリーマーケットから楽しい占い、健康チェックイベントがあります。

時 10時～14時 **所** まちの駅（白鬚） **問** まちの駅 ☎ 52・2000

3日⑩～7日⑩ つきイチ「バラエティー」

日本水彩画会福井支部の会員らが、「小浜に象がやってきた『象アート展』」を開催します。

時 9時～17時（7日は15時まで）

所 市庁舎1階 市民ホール（大手町） **金** 無料

問 文化会館 ☎ 53・9700

9日⑩ 国際交流七夕のつどい2023

日本古来の文化である七夕行事を通じて、地域在住の外国人と地域住民、関係者が交流するイベントを行い、ステージショーやお楽しみ抽選会などを開催します。主催：小浜市国際交流協会

時 10時30分～13時30分 **所** サン・サンホーム小浜（遠敷）

金 無料

申 7月7日⑩までに氏名・電話番号を添えて、電話もしくはファクスで申し込み（当日受け付け可）

問 文化観光課 ☎ 64・6034、FAX52・1401

15日⑩ 第2回 小浜市成人大学講座

「小浜市（国富）生まれのコウノトリ全国の空へ！～57年振りの奇跡！から始まる新たな物語～」をテーマに、一昨年から3年連続で誕生が確認されるコウノトリのひなが、どのように生まれ育ち立っているのかを学びます。

講師：コウノトリの郷づくり推進会

時 10時～12時 **所** 国富コミュニティセンター（栗田）

金 無料 **申** 12日⑩までに事前申し込み。先着30人程度

※晴天時は周辺の散策を行いますので、動きやすい服装・履き慣れた靴で来場をお願いします

問 生涯学習スポーツ課 ☎ 64・6033

2日⑩ 『杉田玄白ものがたり』第3弾 新作講談発表会

時 開場17時30分 開演18時 **所** まちの駅旭座（白鬚）

内 旭堂南海さんの新作講談のほか、旭堂一海さんの講談、NPO法人杉田玄白小浜プロジェクトの理事長・副理事長の座談会

金 無料 **申** 申し込み不要。先着120人

問 まちの駅 ☎ 52・2000

8日⑩ おはなし会と作ってあそぼ！

時 11時～ **所** 市立図書館（白鬚）

内 テーマ：「夏がきた！」

(1) おはなし「うみきりん」
「おめんです3」

(2) こうさく「としょかんのカードケースをつくろう」

金 無料 **問** 市立図書館 ☎ 52・1042



夏の20冊貸し出しを実施します 7月15日⑩～8月31日⑩まで

22日⑩ 小浜市総合卸売市場「市場 de マルシェ」

毎月第4土曜日に開催。フードロスコーナーや関連店舗、地元生産者、キッチンカーなどが出店します。



▲5月開催時の同イベント

時 9時30分～ **所** 小浜市総合卸売市場（川崎二丁目）

問 小浜市総合卸売市場 ☎ 52・1800

22日⑩ おばま児童文学会「風夢」のおはなし会

時 11時～ **所** 市立図書館（白鬚）

内 手あそびうた、絵本などの読み聞かせ

金 無料 **問** 市立図書館 ☎ 52・1042



凡例

時 = 時間 **所** = 会場 **対** = 対象 **内** = 内容 **金** = 料金

申 = 申込締切、定員など **問** = 問い合わせ先、申込先

23日⑩ 映画「お終活」人生、いつ整理する!?

人生百年時代といわれる今、人生整理に動き出す家族の騒動を面白く描いた物語。「笑って」、「泣けて」、「役に立つ」、ヒューマンコメディ映画です。主催：小浜男女共同参画ネットワーク

時 ① 10時～ ② 14時～ ※①・②とも同じ内容

所 働く婦人の家（大手町）

金 大人 1,000 円、小中高生 500 円

申 要チケット。チケットは働く婦人の家で販売中

問 働く婦人の家 ☎ 52・7002

29日①

第4回小浜地区まちづくりタウンミーティング 小浜地区の歴史を紐解き、未来を考える!

京都工芸繊維大学「キョウトデザインラボ KYOTO Design Lab」の学生が、旧小浜の歴史的な成り立ちと魅力、町並みを生かした活用プランを発表します。合わせて、小浜西組の改修物件ツアーも開催。

時 13時～ **所** まちの駅旭座（白鬚）

金 無料 **申** 申し込み不要

問 小浜コミュニティセンター ☎ 53・2010

22日⑤・29日⑤ 食文化館 季節の調理体験

「魚さばき（アジを背開きに）」をテーマに、雑穀ごはん、アジフライ、ひじきの白あえ、夏野菜のみそ汁、梅寒天を作ります。



時 いずれも 10時～13時 **所** 食文化館（川崎三丁目）

金 1,000 円 **申** 3日前までに事前申し込み。各先着 16 人

問 食文化館 ☎ 53・1000

29日①

第1弾 夏休み特別イベント

「親子でチャレンジ オリジナル My ノート作り」

時 10時30分～ **所** 市立図書館（白鬚）

内 本の仕組みについて学びながら、布張りのかわいいノートを作ります。

対 小学生以上の子どもと保護者 **金** 無料

申 6月25日⑩～7月28日⑤に電話で事前申し込み。先着 10 組

問 市立図書館 ☎ 52・1042



第15回ちりとてちん全国女性落語大会 参加者募集

文化会館 ☎ 53・9700

▶ **参加資格** 日本語による落語が披露できる女性（年齢、国籍、経歴は不問）

▶ **参加費** 無料

▶ **演目** 古典・創作は問わない。また、公共の場で上演できない内容は含まないこと

▶ **大会日時・場所**

【予選会】9月23日⑤⑥ 12時～ 文化会館（大手町）

【決勝大会】9月24日⑩ 13時～ まちの駅旭座（白鬚）

▶ **申し込み** 8月3日⑩までに、大会HP（右の二次元コード）の応募フォームから申し込み



初級マレットゴルフ教室 参加者募集

生涯学習スポーツ課

▶ **内容** マレットゴルフの仕組みと基本動作、競技ルールなどを学び、競技を体験

▶ **とき** 8月21日⑩～9月1日⑤の月・水・金曜日 9時30分～11時30分（全6回）

▶ **ところ** 総合運動場（口田縄）

▶ **受講料** 1,200 円（全6回分・開講日に持参）

▶ **定員** 20 人

▶ **申込方法** 8月10日⑩までに総合運動場事務室に設置の用紙に記入して申し込み

▶ **問い合わせ** 市マレットゴルフ協会事務局辻さん ☎ 53・3658

22時～翌6時の花火は禁止

■ 問い合わせ 環境衛生課 ☎ 64・6016

市内の公共の場（道路、公園、広場、河川、海岸など）では、22時～翌6時の花火を禁止しています。周辺住民の皆さんが安心して生活できるよう、ルールとマナーを守って花火を楽しみましょう。

※市が特に指定する「深夜花火禁止区域」（しおがま塩竈海岸～小浜公園の海岸）で違反すると、過料を科す場合があります

禁止の花火の特徴

大きな音が出る、飛ばし、回転する、走行するなど

■ 7月の休館日

市立図書館	4日(火)・11日(火)・16日(日)・ 17日(月祝)・18日(火)・25日(火)
温水プール	3日(月)・10日(月)・18日(火)・23日(日) ※23日(日)は水泳大会のため臨時休館
若狭図書学習センター	3日(月)・10日(月)・18日(火) ※13日(木)は2Fのみ休館
市民サービスコーナー	16日(日)・17日(月祝)

■ 7月の休日当番医

2日(日)	★吉井医院 (塩竈) ☎ 52・0028
9日(日)	★田中病院 (遠敷十丁目) ☎ 56・5353
16日(日)	★にしお内科クリニック (南川町) ☎ 53・2407
17日(月祝)	★本馬医院 (水取一丁目) ☎ 52・2233
23日(日)	★木村医院 (四谷町) ☎ 53・1260
30日(日)	いちせクリニック (南川町) ☎ 53・2415

※★印の当番医の日は、小児患者は、杉田玄白記念公立小浜病院 (大手町) で小児科医が休日診療を行います

7月の窓口延長について

市役所 1 階の窓口 (市民福祉課、高齢・障がい者元気支援課、子ども未来課、税務課、環境衛生課、会計課) では、毎週金曜日 (祝日・年末年始を除く) の執務時間を 18 時 30 分まで延長しています。

■ 子育て応援情報

※印のついた相談などは要予約です。相談は基本的に無料です。内容は変更される場合があります

催し	内容	とき	ところ・問い合わせ
ベビープール※	アクアマリンの指導者による親子プール遊びで楽しみましょう (要参加費)。	7月26日(水) 10時～11時	若狭総合公園温水プール ☎子育て支援センター ☎ 56・3386
誕生会※	今月誕生日を迎える友だちを祝いましょう (要参加費)。	7月19日(水) 10時～11時	子育て支援センター ☎同 ☎ 56・3386
授乳育児相談	助産師による授乳育児の相談です。体重・ほ乳量の測定も可能。	7月5日(水)・19日(水) 10時～11時30分	働く婦人の家 ☎健康管理センター ☎ 52・2222
スクスク元気っ子教室※	離乳食の相談、発育・発達、育児など子育て相談。身体計測も可能です。	7月4日(火) 10時～11時	サン・サンホーム小浜 ☎健康管理センター ☎ 52・2222
ひとり親家庭のための 養育費巡回相談 ※当日予約も可	離婚や別居に伴う、養育費の取り決めなどの相談について助言します。	7月6日(木) 13時～15時	敦賀市福祉総合センター (あいあいプラザ) ☎県母子家庭等就業・自立支援センター ☎ 0776・21・0733
ひとり親家庭のための 就業相談※	転職や資格の取得など、仕事の悩みの相談に応じます。	事前予約で随時実施 11時～15時	若狭健康福祉センター ☎県母子家庭等就業・自立支援センター ☎ 0776・21・0733

■ 高齢者いきいき情報

内容は変更される場合があります

催し	内容	とき	ところ・問い合わせ
カフェ・ぽ〜れ	「百歳体操」や歌で元気になりましょう。認知症について相談ができます (参加費 100 円)。	7月21日(金) 10時～11時30分	小浜コミュニティセンター ☎坂上和代さん ☎ 090・5686・4147
おひさまカフェ	「お笑い顔ヨガ体操・マスクをはずしてステキな笑顔」みんなで楽しみましょう (飲み物代 100 円)。	7月17日(月祝) 10時～11時30分	ふるさと茶屋「清右エ門」 ☎宇野さん ☎ 090・1633・4959

■各種相談

※印のついた相談などは要予約です。相談は基本的に無料です。内容は変更される場合があります

相談名	内容	とき	ところ・問い合わせ
出張年金相談※	年金額の確認や、年金に関する手続きを行うことができます。	7月13日(㊦)・27日(㊦) 10時～12時、13時～15時	文化会館 ☎敦賀年金事務所 ☎0770・23・9905
結婚相談 (本人のみ)	結婚に関する相談に、婦人福祉協議会の相談員が応じます。	7月22日(㊦) 13時30分～15時30分	文化会館 ☎小浜市婦人福祉協議会 ☎090・4329・0346
弁護士無料相談※	法律問題全般について相談ができます。 ※6月27日(㊦)9時から予約可(先着順)	7月4日(㊦) 13時30分～15時	働く婦人の家 ☎福井弁護士会 ☎0776・23・5255
法律相談 (消費生活トラブル)※	消費生活に関する相談に、弁護士や司法書士が応じます。	7月13日(㊦)・27日(㊦) 14時～16時	嶺南消費生活センター ☎同☎52・7830
高齢者専門相談 (法律)※	遺産相続、土地問題などについて、弁護士が相談に応じます。	7月20日(㊦) 13時～16時	県社会福祉協議会嶺南支所 ☎同☎52・7833
女性向け 出張就業相談	仕事に関する不安解消やキャリアアップなど、「働きたい」女性の相談に応じます。	7月5日(㊦) 10時～15時	働く婦人の家 ☎ふくい女性活躍支援センター ☎0776・41・4244
赤い羽根相談 (法・税・登記など)※	弁護士・司法書士・行政書士・社会保険労務士・税理士が、各種相談に応じます。	7月30日(㊦) 13時～16時	サン・サンホーム小浜 ☎ワカサリーガルパートナーズ ☎56・5533(平日9時～17時)
行政相談※	行政に関する手続きや苦情などの相談に、行政相談委員が応じます。	7月18日(㊦) 13時30分～14時30分	市役所 ☎広報・デジタル推進課 ☎64・6009
精神保健相談※	心の病気や、アルコール問題、認知症に関する相談に精神科医が応じます。	7月4日(㊦)・18日(㊦) 10時～11時30分	若狭健康福祉センター ☎同☎52・1300
エイズ、肝炎検査・相談※	匿名で、エイズ・肝炎に関する検査を受けることができます。 ※相談は、月～金の8時30分～17時	7月3日(㊦) 9時～10時30分	
こころの相談	心の悩みを相談してください。	①毎週(㊦)10時～16時 ②毎週(金)12時～17時	①市社会福祉協議会 ☎同☎56・5802 ②つみきハウス ☎同☎53・1190
心配ごと相談	介護など生活での困りごとの相談に応じます。	7月12日(㊦) 13時～16時	市社会福祉協議会 ☎同☎56・5802
特設人権相談	いじめ・体罰・暴行・虐待・差別に関するトラブルなどの相談に応じます。	7月19日(㊦) 13時～15時	働く婦人の家 ☎福井地方法務局小浜支局 ☎52・0238

楽しんで好きなバスケットをする

真剣な表情で練習に打ち込む小浜中学校男子バスケットボール部には、1〜3年生合わせて30人の部員が所属。部員が話し合って決めた「英姿^{えいし}颯爽^{さつそう}」を日々の目標に、当たり前のこともしっかりして、堂々とした姿でいることを心掛けています。

楯尾さんは、これまでの試合経験を振り返り、「2年生のとき、高得点の『スリーポイントシュート』が安定して決められなかったので、調整を繰り返し、今では自分が納得するシュートを打つことを考え、その結



男子バスケットボール部 キャプテン
 たてお まさや
楯尾 雅也 さん
 (小浜中学校 3年生)

果、シュートの記録も残せるようになりました。事情があり競技を続けることができなかった同級生の分まで、楽しんで好きなバスケットをしています」と、気持ちを込めます。

「まだまだ上を目指せるチームだと思うので、シュートの成功率を上げるなど練習をしたい」と夏の大会への意気込みを語る楯尾さん。大会後に部を主導する2年生に向け、「部活の約2年は早く感じます。悔いが残らないように、前向きに活動してほしい」と、思いを話してくれました。

才能も磨くことが大切

物心が付くときから、落書き帳に絵を描くことが好きだった藤田さんは、1〜3年生22人が所属する若狭高校美術部をまとめます。

「芸術は人によって捉え方がさまざまなので、『美術とはなんだろう』と、考えさせられるし、よく『天性の才能で決まる』と言われる」と、美術の難しさを話しつつも、「人の作品を見ることで、人それぞれの感じ方を学ぶことができるし、『天性の才能』も磨かないと輝かないので、努力することも大切」と、美術の面白さを

笑顔で語る藤田さんは、「部長になったことで、仕事量が増え、責任を感じることもあるが、他学年の生徒と話す機会が増えたので良かった」と、自身を振り返ります。

7月22日⑤・23日⑥に福井新聞小浜支社コミュニティホール（後瀬町）で、3年生4人の今までの作品が展示される卒業作品展が開催されるのを前に、藤田さんは、「製作中の作品に納得できるように、仕上げたい。ぜひ多くの人に見に来て欲しい」と、来場を呼びかけました。



美術部 部長
 ふじた あおい
藤田 蒼生 さん
 (若狭高校 3年生)

小浜のファンを増やせるように

5月に一部開業を迎えた宿「若狭佳日」で宿泊客をもてなすスタッフとして働く大住さんは、昨年4月に入社。「内外海地区に住んでいることもあり、海は生活の一部で日常の光景です。阿納で事業が立ち上がることを知り、地区のことで力になれるなら、と思い入社しました」。

開業前に県外のホテルで3カ月間研修を受けた経験を基に、他のスタッフに接客方法を教える大住さん。「どうしたら一流のサービスの提供ができるのかを他のスタッフと話し合い

ながら、能力を向上させていきたいです。サービスの提供側ではなく、お客様の視点に立ってどうすれば満足いただけるのかを考え、会話の中から、宿に來られた目的などを察したい」と、仕事に意欲を見せます。

大住さんは、「料理や小浜の文化を説明して、興味を示していただけたときはうれしく思います。次もこの宿に來たいと思っていただけの方や、小浜のファンを増やせるように精進していきたい」と、にこやかな顔で話してくれました。



勤務先 株式会社まちづくり小浜 わかさかじつ 若狭佳日
大住 一平 さん (24歳)
おおすすめ いっぺい

きらり! 小浜人

養蜂を通して恩返ししたい

蜂蜜やローヤルゼリー、蜜ろうなどを採取するためにミツバチを飼育する『養蜂』に興味があった下石さんは、旅行で訪れたひまわり畑(加茂)に魅せられ、昨年2月に愛知県から家族で移住しました。

「蜂蜜には1種類の花の蜜からなる単花蜜と数種類の花の蜜からなる百花蜜があり、ここでは百花蜜の蜂蜜を採取しているので、時季によって違った味の蜂蜜を食べられる」と、笑顔で話す下石さんは、「養蜂家は蜂蜜を採ることだけが仕事と思われが

ちだが、ミツバチを増やすことも仕事のひとつ。ミツバチが増えたと蜂蜜の採取量が増えるだけでなく、受粉する植物の量も増えるので、森林などの緑を守ることもつながっている」と、養蜂に誇りを持ちます。

「今やりたいことができています。周りの人たちのおかげ。受粉によって、野菜や果物の実りを良くするために巣箱を貸し出したり、養蜂を学校の教材の一つとして活用してもらったりして、地域へ恩返ししたい」と、思いを語ってくれました。



市内で養蜂家として活動する
下石 達朗 さん (37歳)
ようほうか しもし たつろう

健康

生活のとびら

杉田玄白記念 公立小浜病院

■問い合わせ ☎52・0990

パーキンソン病とは

体の動かしづらさが出てくる病気

最近、声が小さくなったと言われることはありませんか？または手が震える、歩幅が小さくなった、歩き出しにくくなったと思うことはありますか？その原因はもしかすると、パーキンソン病かもしれません。

パーキンソン病とは、脳の神経細胞に異常が起こることで、次第に体の動かしづらさが出てくる病気です。手が震えたり動きが遅くなったり、転びやすくなったりします。また、筋肉の力が落ちて、関節が硬くなります。他に、おいが分からなくなったり、便秘になったり尿が出にくくなったり、立ちくらみが出たりすることもあります。パーキンソン病は、60歳以上では100人に1人が発症するといわれており、高齢化に伴い患者の数は増えていくことが予想されます。診断には、



内科
真田 采也加 医師

診察や画像検査を合わせて行います。

しっかりと治療して進行を遅らせる

治療は飲み薬で行い、脳の中で不足している「ドーパミン」という神経伝達物質を補充する働きのある薬を中心に使用します。便秘や排尿障害がある場合には、症状に合わせて治療を行います。また、能力回復のためのリハビリテーションを取り入れることによって、筋力の低下などを予防する、よりよい効果を期待できます。

パーキンソン病は、次第に進行してしまう病気ですが、しっかりと治療をすれば、進行を遅らせることができる病気です。「パーキンソン病かもしれない」と思う方は、一度、当院内科にある神経内科までご相談ください。

----- 有料広告 -----

ゴミ分別・収集日通知無料アプリ!

ごみサポ!

完全無料
分別検索 アラーム通知

スマホ全対応

自治体・学校教育機関向けアプリ・データセンター
福井システムズ株式会社
若狭営業所
小浜市小浜清滝102 TEL: 52-6360
URL: <http://www.fukui-systems.co.jp/>

近くて安心!!

光おーちゃんネット

上り下り 1Gbps

月額 **4,950円**
(プロバイダ料金を含む)

光おーちゃんネットなら過去に放送した「ワイドわかさ」をいつでもご覧いただけます!

詳しくはチャンネルOまでお問合せ下さい。
☎ 0770-52-7200

安心と信頼 地元の石屋さん

お墓ディレクター(1級)在籍
(日本石材産業協会登録第12-100024号)

有杉田石材店

お気軽にご来店下さい。
お電話でのご相談も承ります。

小浜市小浜広峰 55
☎ (0770)52-0748・FAX(0770)52-0853

市公式HPバナー 随時募集中

お問い合わせは
広報・デジタル推進課まで
☎ 64・6009

福井県シルバー人材センター連合
高齢者活躍人材確保育成事業

シルバー人材センター 会員募集

人のため、まちのために働き隊!

60歳以上、
元気はつらつマン募集中!

(公社) 若狭シルバー人材センター
小浜市遠敷 84-3-4 サン・サンホーム小浜内
☎ (0770)56-5115・FAX(0770)56-5088

安全と快適を生む環境づくり。

AIVIX

株式会社アイビックス

若狭支店 / 917-0241 小浜市遠敷7丁目112
TEL: 0770-56-0266 FAX: 0770-56-0268
URL: <http://www.aivix.ne.jp>

歴史探訪 日本遺産物語

1500年続く若狭と都の往来の歴史を紹介します



身近な調味料こそが陰の主役

「御食国若狭小浜」や「鯖街道」と聞いて、サバや若狭ぐじなどの海の幸を思い浮かべる人が多いと思いますが、これらをより引き立てている陰の主役をご存じでしょうか。

冷凍など、食品の保存技術もなく、交通手段が限られていた江戸や明治の時代、魚の鮮度を保ち、腐らせずに京都まで魚を運ぶことが課題でした。そこで小浜の職人たちは、塩や酢などの調味料を活用し、その絶妙なあんばいを見極め、手を加えることで、常に新鮮な海産物を京都へ届けました。

長い歴史の中で培われた、調味料を操る職人の技は、塩漬けたサバをぬかで漬ける「サバのへしこ」やレンコダイを塩や酢で漬ける「若狭小浜小鯛

ささ漬」、ひとつまみの塩を振った魚「若狭一塩」などが誕生するきっかけとなり、日本海各地から小浜を経由し、京都へ運ばれるどんな魚も、職人の技によって「若狭もの」となりました。

歴史をひも解くと、御食国と呼ばれた奈良時代から1300年以上にわたる、身近にある調味料の使い方を極めた職人の技こそが、誰にもまねできない小浜の特産品の源であり、歴史で育まれた「小浜の味」の決め手かもしれません。



一塩振る職人 (写真提供: UMIHICO 堀越一孝)

「広報おばま」に広告を掲載してみませんか



市公式HP ▲

- ▶発行日 毎月25日(土・日・祝日に重なる場合は、直前の平日)
- ▶部数・配布 1回12,000部発行。主に市内各区を通じて、各世帯へ
- ▶広告掲載料金 1回1枠(縦5号、横5.5号)1万円

詳しくは、市公式HPもしくは広報・デジタル推進課 ☎0770・64・6009 まで

編集後記

●本紙発行日時点で小浜市の現役地域おこし協力隊員7人と、任期終了後小浜市内で働く元隊員2人を取材させていただきました。活動分野や経歴年数などは異なる皆さんですが、共通して感じたのが信念と行動力。皆さんの活動や魅力あふれる考えに触れるうちに、こちらにも活力をいただいた気がしました。この活力を元に次号の取材に励みますので、可能な範囲で取材へのご協力をお願いします(理)

●先日、小学2年生の子と菓子屋へ。大好きなお菓子を目の前に、握りしめた200円で収まるよう、あれでもないこれでもない、納得するまで時間がかかっている様子。▼必死に考えて決めたお菓子の合計が170円と教えられると、あと30円分買うことが出来るのがうれしいのか、満面の笑み。▼私たちも200円でワクワクできていた小さいときのことを考えると初心忘るべからずと感じます(将)



広報おばま
No. 835 令和5年6月23日(金)発行

本紙の一部には臭やましいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。



発行
編集

福井県小浜市
〒917-8585 小浜市大手町6番3号

企画部広報・デジタル推進課
☎64・6009 FAX53・0742

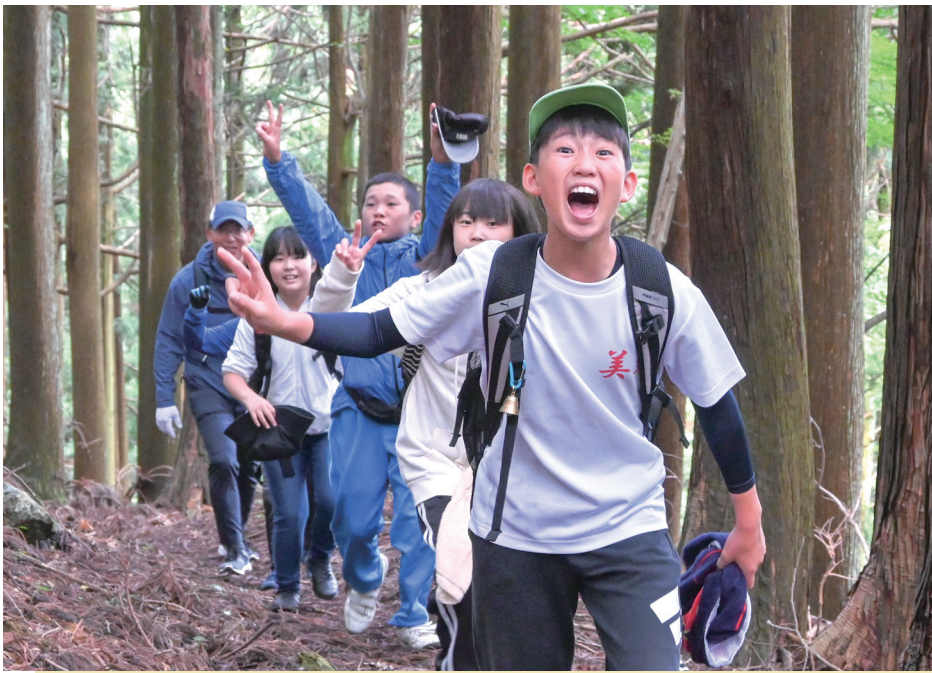
ホームページ
電子メール

印刷

https://www1.city.obama.fukui.jp/
kouhou@city.obama.lg.jp
若越印刷(株)小浜営業所



漂着したごみの清掃活動に兄弟で取り組む(矢代・5月28日)



鱒街道踏破に向けて山道を歩く小浜美郷小学校5年生(上根来・6月10日)

地域の出来事などをSNSで発信しています

市公式 Twitter



市公式 Facebook



小浜市防災メール

災害や避難の情報をお知らせします。
登録は、右の二次元コードもしくは
Webサイト(https://mail.cous.jp/bou
saibama/)から手続きしてください



人の動き(6月1日)

【人口】28,188人(前月比 -18人)
(前年同月比 -248人)

【世帯数】12,232世帯

【男性】13,894人

【女性】14,294人

【転入】68人【転出】59人

【出生】14人【死亡】42人